

H26.12.11

今年もあっという間に12月。早いものですね。

先日は新潟市内も思わぬ大雪！9日(月)の朝は、技術員さんが駐車場の除雪に追われていました。寒い中ありがとうございました。

さて、北高校では2学期の期末考査が終了しました。気になる結果は??? 通知表については、12月19日以降に各家庭に送付しますので、それまでお待ちください。

今回のオンリーワン通信は、「新潟県立大学講義体験」、「弁護士出張授業(薬物乱用防止講演会)」、そして「国際理解教育」。北高らしいアカデミックな内容?(^_^;)でお届けします。



22人の弁護士がやってきた (SNS・薬物乱用防止 出前授業)



12月5日(金)、期末考査終了後の5・6限に行われた「薬物乱用防止講演会」では、新潟県弁護士会の「学校へ行こう委員会」に所属する22名の弁護士の方々が一人ずつ全クラスに入り、薬物乱用の恐ろしさやSNS、インターネットに潜む危険性を事例を交えて授業をしていただきました。

近年、深刻な社会問題になっている危険ドラッグでは、「最初は興奮状態だったが、数日後には呼びかけにも反応しなくなった。」など生々しい様子を紹介していただき、「**一回でも手を染めたらもう終わりだという強い気持ちを持って。**」と生徒に呼びかけました。またLINEやFacebookなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)では、飲食店員が食器洗浄機の中に入った画像を投稿し、閉店に追い込まれた事例など、「**軽はずみな行為が想像できない事件に発展する**」と講義していただきました。普段聞けない現役の弁護士のみなさんからの授業は、生徒たちの心に響いたようです。

弁護士の皆様、お忙しい中、熱心な授業ありがとうございました！



普段の授業よりも真剣?!



当日は報道各社も取材に多く訪れ、夕方のTVニュースや新聞各紙に紹介されました。



県立大学講義体験

新潟県立大学で11月17日（月）に、本校2年生で来年度「子ども文化」を選択した生徒が、講義体験をさせていただきました。実際に大学に行きキャンパスの雰囲気を感じ、授業を体験してみることは、大学進学希望のあるなしにかかわらず、キャリア教育として有意義だネ。本年度の担当は、体育がご専門の教授伊藤巨志（キヨシ）先生。伊藤先生の主



な研究テーマは、「身体発育発達学・子どもの運動遊び・健康教育・野外教育」です。当日の内容は、年齢と身長発達速度の関係と運動の適時性からはじまり、栄養・運動と遊び、高校生にとってこれからできることなどについて、これまでの先生の研究結果を分かりやすく話していただきました。途中や最後の方に、理論を実感したり脳を楽しく活性化させたりするエクササイズも織り交ぜていただき、みんなには、ライフワークに運動を取り入れてほしいとのことでした。伊藤先生はやさしくて明るいお人柄でもあり、この講義を通じて、生徒は元気と希望をいただき、全員笑顔で県立大学講義体験を終えることができました(^)。体を動かすことって、人生にと～っても大事だよネ。理屈が伴えば鬼に金棒だ。伊藤教授、大変ありがとうございました！！

国際理解教育「当たり前ってなに?」

JICA 新潟デスクで新潟県国際協力推進員である『本田龍輔』さんからグローバルな視点で、平成26年12月8日より各クラスで順次出前授業を行っていただいています。



世界の実情や多様性を知り、日常の「当たり前」と照らし合わせることで、今を見つめ直し「生き方」や「幸せ」について考える機会となっているようです。

本田さんは、小千谷市出身。平成22年1月から平成24年1月まで、青年海外協力隊で村民開発普及員として大洋州のパプアニューギニア（略してPNG）という国で活動してきました。原始の秘境と呼ばれるPNGでの生活は、冒険とスリルに満ちあふれ刺激的な2年間だったそうです。南国の木陰で気づかされたことは「幸せの定義」。

あなたにとっての「小さな幸せ」、「大きな幸せ」そして「大切にしたいもの」は何ですか。